

■第1回会議における各委員からの主な意見■

- ・市庁舎は機能を良くすることが必要である。現在の施設に新たな機能（設備）を追加するには、建物自体が古いため、機器等の交換が困難であり、建物自体を新しくした方が良くとも考えられる。
- ・市の中核施設である市庁舎については、しっかりしたものとする必要がある。
- ・将来的にランニングコストばかりがかかるようなものを作ってしまったてはならない。
- ・市庁舎と市民会館の合築プランが示されているが、その他、必要な施設用途を付加することについてもコスト的なメリットがあれば、検討する余地がある。
- ・一つの施設に集約していくことで、コミュニティが強くなるという考え方もあると思う。
- ・「建替え」という選択肢に進むのであれば、建設前に検討した事項は整理しておく必要がある。情報開示することを前提に経緯をまとめておく必要がある。
- ・市内で市民団体が催事を行う場合に、産業文化センターのホールは規模（400名収容）的に使い勝手が良い。一方、市民会館のように1000人を動員する催事は、客席を満たすために人集めが大変である。
- ・市庁舎A・B棟は仕様が古く、多くの方が使いにくいと感じているのではないかと。市民ホールという大空間があり耐震補強も難しいと思う。特にトイレの使い勝手が悪いので改善する必要がある。また、人だまりや人の流れを考慮すると、現在の庁舎の改修で対応できるか不安な要素がある。
- ・公共施設については、市民が足を運びやすいということが重要である。その施設へ行けば様々な世代の人と交流ができるという仕組み（スペース）を作ってみてはどうか。市民会館を市庁舎に併設するのも良いと思う。
- ・ホールについては、産業文化センターがあれば、市民会館のホールがなくても済んでしまうことも考えられる。人口減少とインターネット社会の中では、市の施設に求められるものも変わってくるのではないかと。
- ・公共施設でハコモノ批判が出るのは、「多目的という名の無目的」だからである。何にでも使えると見せかけて、結局、目的が曖昧で何にも使えない施設になっているというものである。
- ・市庁舎を検討するには、組織（部課）をどのように配置するのかについても、考慮していかなければならないと思う。